

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2005.06.08

参加者 難波（本荘小）倉橋（西大寺南小）松本（国府小）福井（中央小）

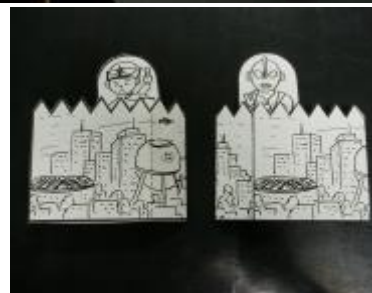
【3年生『電気の通り道用』テスター】難波

電気を通すもの・通さないものを調べるのに、教科書や市販キットの多くは豆電球テスターを用品います。これで確かに実験はできるのですが、トキメキがない。やはり光と音で盛り上げよう！！ということで、これまでは高価な電子ブザーを使ったり、面倒な改造をして防犯ブザーを流用したりしていました。しかし、今回は決定版！といえるモノです。ただ100円ショップの電池式ブザー（呼び鈴）のコードを切るだけ。これだけで立派なテスターになるのです。



【100玉そろばんの製作】松本

1年生の算数で教科書通りにタイルを使おうとしたら、これが結構むずかしい。バラバラになったりして思うように操作できない子がいる。そこで、針金に発泡スチロール球を通して簡易そろばんを作ってみたが、コストが高い。次に100円ショップで数珠を買ったり、手芸屋でビーズを買ったりと苦心しているそうです。ちなみに岡山市間屋町にある鴨井商店という手芸屋はビーズをグラム売りするそうです。



【変身ウルトラマン】福井

とても簡単な仕組みなのに一瞬でハヤタ隊員がウルトラマンに変身するペーパークラフト。



【イライラ棒の持ち手に新素材】福井

100円ショップのカラーワイヤーが使えます。

【オリジナル計算ソフトがさらに充実】倉橋

アクティブBASICで作った自作ソフト。軽い！

【100円ショップのセパタクロール】松本

少し作りは粗いけど何かに使えるかも。右は先週の1年生エマージェンシーBOXの改良版です。



【発泡スチロールを作る】松本

「ビーズ」と呼ばれる直径1mm程度のポリスチレンの粒を茶こしに入れ、下でビーカーの水を沸騰させ、水蒸気で加熱すると約50倍に膨らみ発泡スチロールができます。「ビーズ」にはブタンなどの炭化水素系の発泡剤が閉じ込められているそうです。温かいうちに型に入れて押さえつけます。ビーズはJEPSRA発泡スチロール再資源化協会で学習用としてサンプルを送ってもらったそうです。



<http://www.jepsra.gr.jp/>